学校支援ボランティア推進協議会事業

(国名称:「学校支援地域本部」事業)

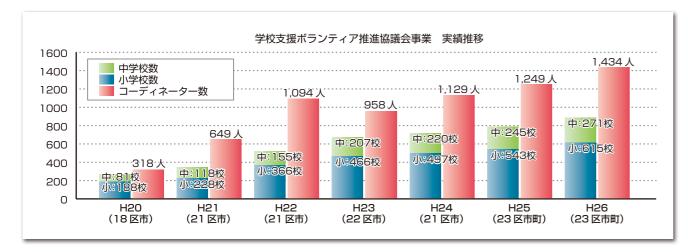
◆事業の趣旨や活動内容について

東京都教育委員会では、平成20年度から本事業を開始しました。この事業は、区市町村において、学校と地域が連携して地域住民や保護者等が学校教育支援を行い、地域全体で子供の教育活動を支えていく取組です。学校と地域住民等を調整する役割として、「コーディネーター」を配置し、学校のニーズを踏まえて「学習支援」「クラブ・部活動」「環境整備」「登下校安全確保」「学校行事」などそれぞれ実情に応じた様々な取組を行っています。

◆事業の実績について(学校数、コーディネーター数等推移)

毎年、新たに本事業を活用する学校数が増えており、都内の小・中学校の約半数弱の学校が、本事業を活用 した取組を実施しています。

これに伴って、新たなコーディネーターも増加傾向にあり、平成26年度は、1,400人以上のコーディネーターが配置されています。



【取組事例紹介】

学校支援ボランティア推進協議会事業

コミュニティ・スクールと学校支援 地域本部との連携の一形態として

~「文京区立誠之小学校」の取組から~

現在、都内で「学校支援地域本部」の仕組みを導入している学校の中には「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)[注]」と連携して教育支援活動を行っている学校も見られます。今回は、その一例として、「文京区立誠之小学校」の取組を紹介します。

これまでの取組について、同校の西田義貴校長に伺いました。

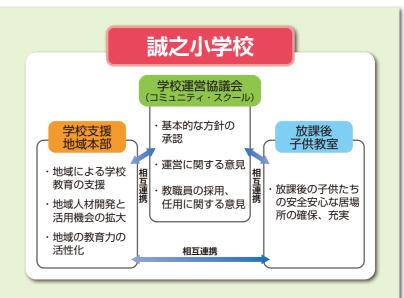
◆誠之小における学校支援の仕組みづくりについて教えてください。

本校では、もともと地域の支援者の方々によって、学校支援のボランティア活動が行われていました。そこに、学校支援地域本部(平成20年度)や放課後子供教室(平成19年度)という制度を後追いのかたちで導入してきたという経緯になります。また、平成23年度にコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の研究指定校となり4年が経過しています。

学校運営協議会と学校支援地域本部等の関係性としてはどちらが上下という関係ではなく、学校運営

協議会の機能としては、基本的に「①学校運営の基本的方針の承認」、「②学校の運営及び職員の任用に関する意見の申し出」等の話合い中心の場(合議体)として位置付けています。一方、学校支援地域本部や放課後子供教室は実働的な機能として子供たちへの教育支援活動等を担っており、相互に連携を図っています。

学校運営協議会の構成としては、学 識経験者、学校支援地域本部のコーディ ネーター、町会長学友会(同窓会)、青 少年健全育成委員、PTA、校長となっ ており、月1回程度開催しています。



また、本校の特徴的な取組として、4月には学校運営協議会主催の教職員に対する研修を行っており、 各委員から学校の成り立ちや今ある組織のことや、それぞれの立場での思いや期待等を含めた話をして いただくことで、教職員の理解を深めています。

◆どのような学校支援の取組をしていますか?

町会から大学・企業まで地域の様々な団体の御協力を頂きながら、登下校の見守りや国語・英語の授業支援、長期休業中のパトロールや水泳指導時の安全管理等を展開しています。



その他、月一回程度、朝学習の時間帯に「お話の森(ショート)」という読み聞かせを行っていますが、2月から3月にかけて、一年間のまとめとしての「お話の森(ロング)」も行っています。「お話の森(ロング)」ではボランティアの手作りによって「影絵」や「英語劇」など工夫を凝らして、映像・音響効果も含めた臨場感ある演出が行われ、お話の展開に目を輝かせる子供たちの表情が伺われます。

◆これまでの取組から、その効果や課題について感じていることは?

学校と学校支援組織のなお一層の緊密な連携が図られ、これまで以上に学校が開かれてきたことで、 保護者や地域の方々にとって、学校の敷居が低くなったとの声も上がっています。

また、キャリア教育や部活動においては、専門性を持った人材の支援によって、子供たちにとっての 教育内容の質の向上に加え、教員のスキルアップにもつながっています。

学校支援地域本部の運営に伴って、すばらしいコーディネーターに恵まれ、事業内容の充実とあいまって、学校の求めによる人材提供が進んでいます。一方、現在2名いるコーディネーターの後継者問題に 苦労しており、行政の協力の必要性なども感じているところです。

※文京区立誠之小学校の取組は、「平成24年度優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」を受けています。

[注]「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」

コミュニティ・スクールは平成16年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置されるもの。学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。